匠で飾られた南米の美の 国立美術館

トリエナル・デ・チリ二〇〇九

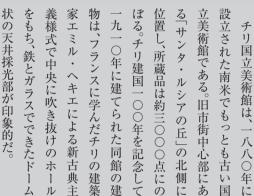
筆者が同館を訪ねたのは二○○

なじかわ さとし藤川 哲 山口大学准教授

チリ二〇〇九」の第

一回展の主会場

ていく国際美術展「トリエナル・デ・ 行事業として、今後三年毎に開催し 年の建国二〇〇年記念に向けた先 九年一一月のことである。二〇一〇 国際美術展「トリエナル・デ・チリ 2009



の文化施設で一斉に開催される国 家的規模の事業だった。 オンなど南北に長 イキケ、バルパライソ、コンセプシ

い同国の七都市

クラーク(チリを代表する画家ロベ 米国で活躍したゴードン・マッタ= チリの風景画と地図製作」のほかに、 た風景画、水彩スケッチ、地図、地理 領土」展は、 などがおこなわれていた。「国家の の作品《柔らかな物体》の再現展示 パブロ・ラングロイスの一九六九年 元サンティアゴで活躍するフアン・ ルト・マッタの息子)の回顧展や、地 企画展「国家の領土 チリ国立美術館では、トリエナル 一九一〇年までに描かれ 一九世紀

> 学書を展示し、「国土のイメージ」の 形成史を振り返る内容だった。現代 タレーションも展示されていた。 よる、小学生用の机を並べたインス 美術家のアリシア・ビラリールに

金地モザイクの美術家たち

浮彫りが埋め込まれている。同館の 前でポーズをするフリュネ」などの 壁に、ドナテッロやルーベンスらの ウス・ウェールズ州立美術館の外 名前とともに、プラクシテレスの 南半球では、シドニーのニュー・サ で、こうした装飾をもたない。他方、 中空に浮かせるモダンなデザイン 成のサンパウロ美術館は、展示室を である。同じ南米でも一九六九年完 ド、プラクシテレス、フィディアス、 されている。ラファエロ、レオナル よって六名の美術家の肖像が再現 レンブラント、ジャン・グージョン 同館の正面には、金地モザイクに



フアン・パブロ・ラングロイス《柔らかな物体》

のではないだろうか 離がとれるようになったといえる こうした装飾に対しても適切な距 解は深まり、権威も相対化されて 建物は一八九七年の完成。その後の ○○年で西洋美術史に対する理

港に到着した。 トゥロ・メリノ・ベニテス国際空 時に発って、翌朝一○時ごろアル 飛行機で約二七時間。成田を夕方七 チリの首都サンティアゴまでは、

家エミル・ヘキエによる新古典主 物は、フランスに学んだチリの建築 ぼる。チリ建国一〇〇年を記念して 位置し、所蔵品は約三〇〇〇点にの る「サンタ・ルシアの丘」の北側に 立美術館である。旧市街中心部にあ 設立された南米でもっとも古い国 九一〇年に建てられた同館の建

14